

## 株主の皆さまへ



## 手代木 功

SHIONOGIは、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい“薬（ヘルスケアソリューション）”を提供する」ことを基本方針（SHIONOGI Group Heritage）に掲げています。この使命を果たすために、当社は、アンメットニーズに拘り、自らの強みを活かすことの出来る領域として、感染症および社会的影響度の高いQOL疾患（Quality of life：生活の質）を注力領域と位置づけ、研究開発、販売活動を推進しています。2024年度は国内において、SHIONOGI初のワクチンとなるCOVID-19予防ワクチンの承認取得や抗うつ薬の承認申請、不眠症治療薬の販売提携など多くの事業進展がありました。

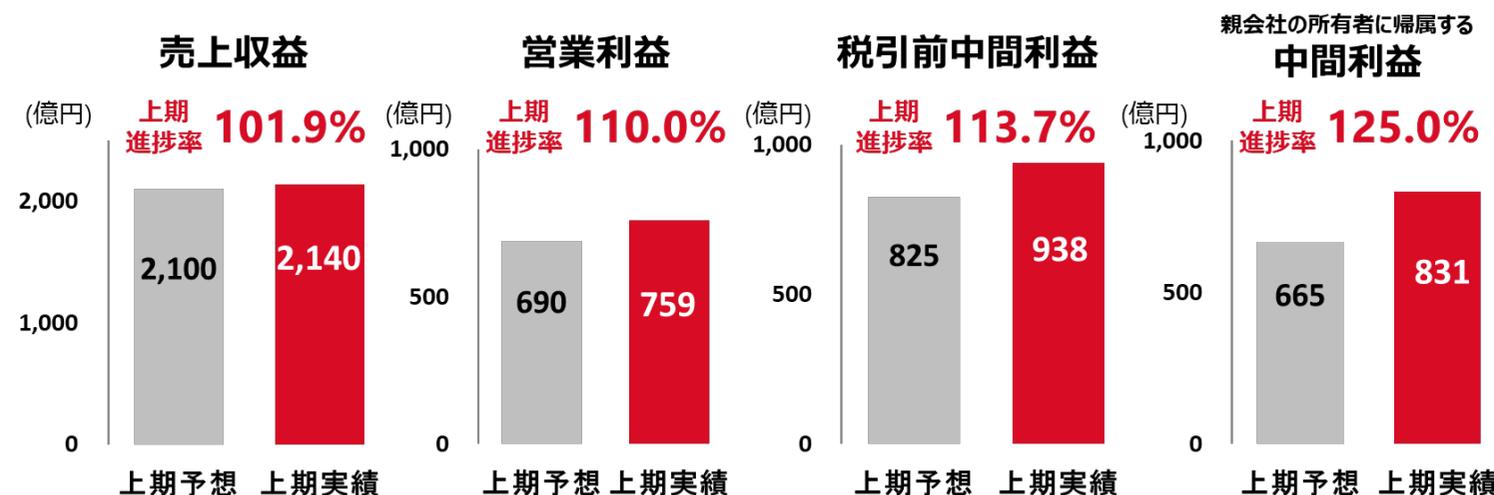
また、当社は自社創製の医薬品を自らの手で、世界中の患者さまにお届けし、真のグローバル企業として、「創り、造り、売る」ことの体現を目指しています。この取り組みをさらに加速させ、グローバル化を一層推進する一環として、本社の移転も決定しました。

今後も、世界中のステークホルダーの皆さまから信頼されるパートナーとご認識いただけるよう、変革への挑戦を続けてまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 2024年度 上期業績と通期業績の見通し※

■ 売上収益および各種利益項目は上期計画を上振れて着地

■ 堅調な上期業績を受けて、売上収益および全ての利益項目を上方修正



2024年度上期の業績は、売上収益およびすべての利益項目で予想を上回りました。主な要因は、セフィデロコルを中心とした海外事業の拡大と、HIVロイヤリティー収入の堅調な成長です。一方、国内事業では、COVID-19およびインフルエンザの感染者数の大幅な減少により感染症薬の売上収益は予想を下回りましたが、COVID-19治療薬「ゾコーバ」およびインフルエンザ治療薬「ゾフルーザ」は、計画通りのシェアを獲得しており、流行拡大時には安定的に業績への貢献が期待されます。

2024年度  
通期予想

	当初予想	修正予想	修正額
売上収益	4,550	4,600	50
営業利益	1,600	1,650	50
税引前中間利益	2,000	2,060	60
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,630	1,710	80

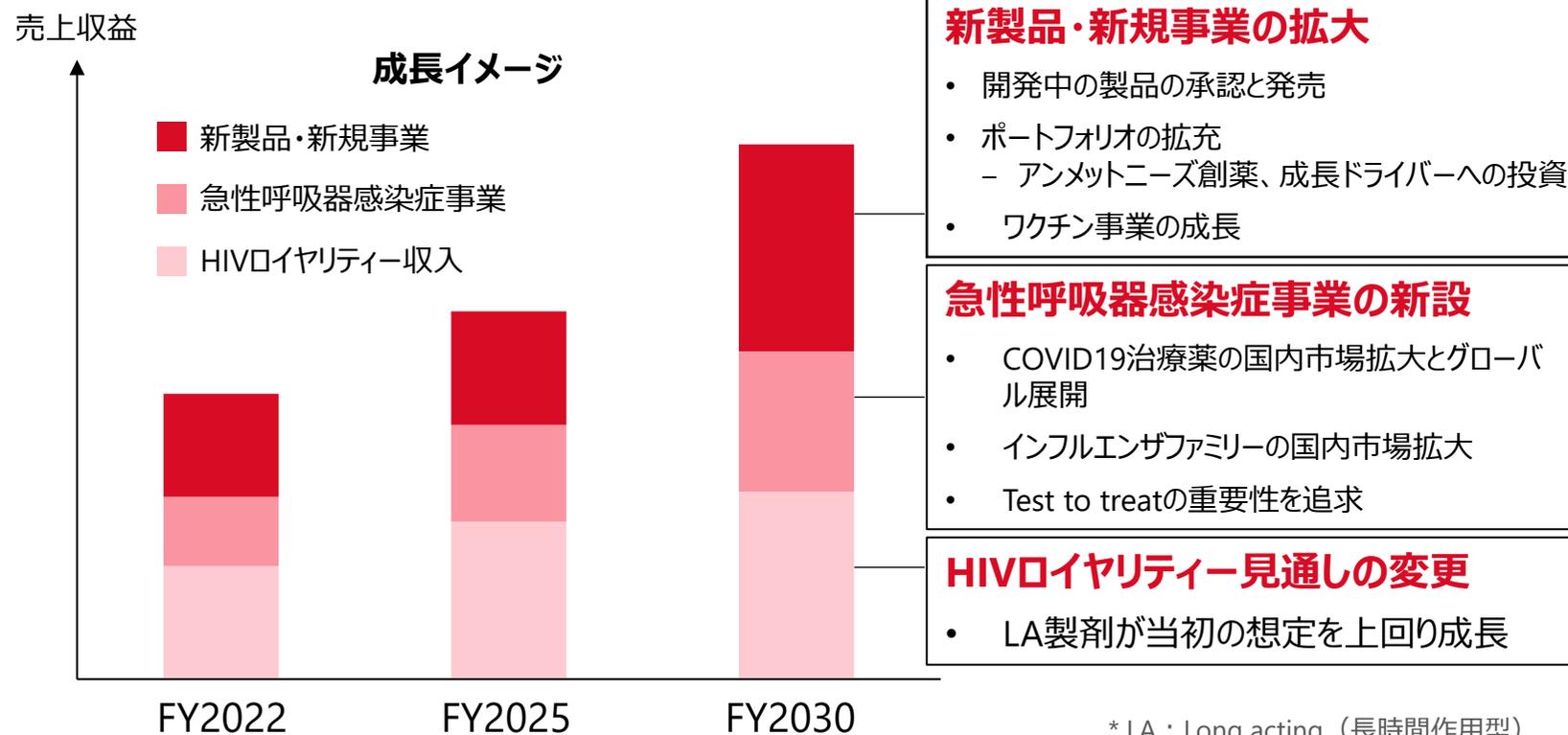
好調な上期進捗を受け、売上収益およびすべての利益項目について通期計画を上方修正しました。2024年度は、売上収益および営業利益で3期連続の過去最高業績の更新を見込んでいます。

※ 業績の詳細については、[2024年度 第2四半期（中間期）決算説明資料](#)をご覧ください。 SHIONOGI

## STS2030 Revision – 3本柱の内訳変更 –

HIV事業については、力強い成長が続いており2030年まで安定的なロイヤリティー収入が期待できることから、見通しを上方修正しました。また、国内において、COVID-19治療薬「ゾコーバ」、インフルエンザ治療薬「ゾフルーザ」という、2つの異なる種類のウイルスに対する治療薬を有することで、特定のウイルスの流行に左右されにくい、新たなビジネスモデルを構築できたことから、急性呼吸器感染症事業を3本柱のひとつとしました。

- HIV事業はLA\* 製剤や経口2剤レジメンの予想を上回る成長から、2025年度、2030年度の売上を上方修正
- COVID-19治療薬にインフルエンザ治療薬を併せて急性呼吸器感染症事業とし、両剤を持つ強みを活かしてさらに成長
- 積極投資（R&D、事業投資）による2030年Vision実現に向けた成長（～2030）



## 本社移転の発表

SHIONOGIは、1878年に薬種問屋「塩野義三郎商店」として創業し、大阪・道修町で事業を展開してきました。

このたび、グローバル化をさらに推進し、経営の効率化と機能強化を図るため、本社機能を見直し、新たに「グラングリーン大阪」へ移転することを決定しました。新本社は、当社が掲げるVisionの実現を加速させるとともに、グローバル本社としての役割を担います。



## 主なトピック

### SHIONOGIが注力する疾患領域 – 感染症 –

「感染症の脅威からの解放」

#### 社会を脅かす影響度の高い感染症



**急性感染症**  
COVID-19  
インフルエンザ  
RSV等



**薬剤耐性 (AMR)**



**治療に長期間を要する感染症**  
HIV  
マラリア  
結核等



**ワクチンを始めとする  
トータルケア**

#### ■ エンシトレルビルの発症予防試験の良好な結果

「エンシトレルビル（日本での製品名：ゾコーバ）」は、COVID-19症状の発症抑制効果を検証するためのグローバル第3相臨床試験において、プラセボと比較して優れた発症予防効果を示しました。COVID-19は依然として公衆衛生上の深刻な課題であり、現在、予防使用を目的として承認されている経口抗ウイルス薬は存在しません。日本を含むグローバルにおいて、COVID-19の治療と予防の両面で貢献ができるよう、引き続きエンシトレルビルの開発を推進しています。

#### ■ コブゴーズ®筋注の承認取得

SHIONOGIは、COVID-19予防ワクチンとして、2024年6月24日付けで、SHIONOGI初のワクチンとして、起源株1価予防ワクチン「コブゴーズ」の国内製造販売承認を取得しました。「コブゴーズ」は、これまで主に使用されてきたmRNAワクチンとは異なり、長年にわたり国内外で広く使用され、その有効性と長期的な安全性が実証された技術を基盤とするワクチンです。当社は、今後の推奨株を考慮したワクチン開発を進めるとともに、ヘルスケアニーズに迅速に応えるため、安定した供給体制の構築に取り組んでいます。

### SHIONOGIが注力する疾患領域 – QOL疾患 –

「健やかで豊かな人生への貢献」

#### 社会的影響度の高いQOL疾患



**認知症**



**肥満**



**子どもの疾患  
希少疾患**



**睡眠障害**



**難聴**



**免疫・アレルギー**

#### ■ 不眠症治療薬クービビック®に関する販売提携

「クービビック」は経口不眠症治療薬で、日本においてネクセラファーマジャパンが2024年9月24日付けで、成人の不眠症患者に対する治療薬として製造販売承認を取得しました。

SHIONOGIは、ネクセラファーマジャパンと販売提携契約を締結、日本における「クービビック」の独占的販売権を取得し、2024年12月中の販売開始を目指して取り組みを進めています。

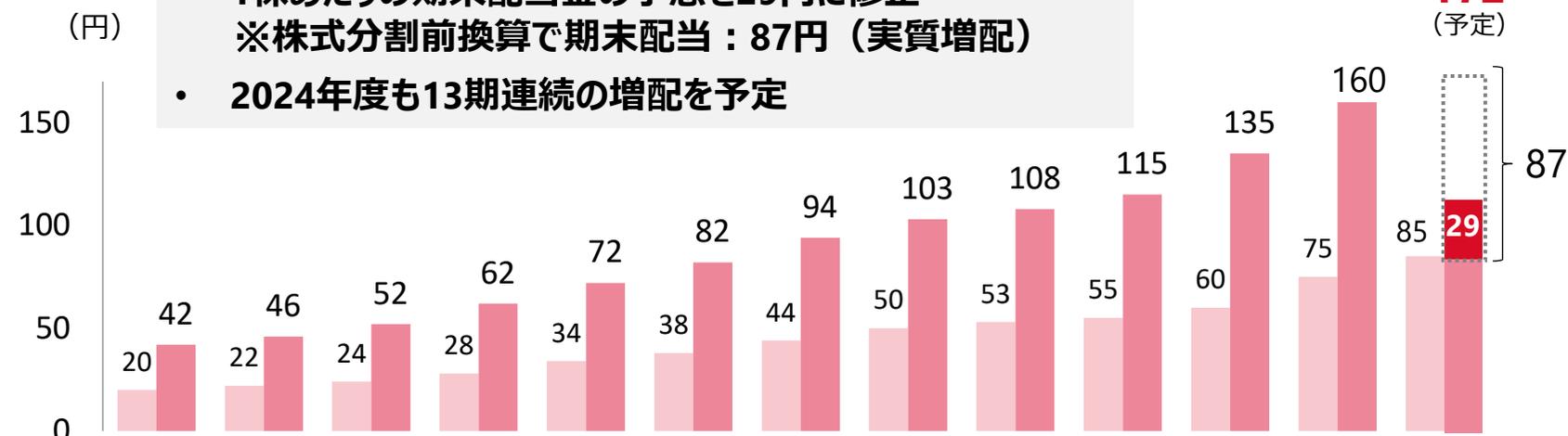
#### ■ うつ病治療薬候補ズラノロンの承認申請

SHIONOGIは、うつ病治療薬候補ズラノロンについて、2024年9月27日付けで、日本での製造販売承認申請を実施しました。ズラノロンは、既存の抗うつ薬とは異なる新規の作用機序を有する経口薬で、1日1回14日間の経口投与により、効果を発揮する薬剤です。また、投与開始3日目から薬効を発揮できる即効性が特徴の1つであり、うつ病治療の新たな選択肢として貢献することが期待されます。

## 株式分割・株主還元施策

SHIONOGIは、投資単位当たりの金額を引き下げることで株式の流動性を高め、より幅広い投資家層にアクセスすることを目的に、9月30日を基準日、10月1日を効力発生日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式を1株につき3株の割合で分割しました。

- ・ 前中間期よりも10円の増配
- ・ 1株あたりの期末配当金の予想を29円に修正  
※株式分割前換算で期末配当：87円（実質増配）
- ・ 2024年度も13期連続の増配を予定



年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
取得額	-	-	300億円	-	350億円	294億円	500億円	500億円	500億円	-	494億円	750億円	-
消却数	-	-	-	-	2,200万株	500万株	735万株	520万株*	-	-	420万株	1,084万株*2	-
DOE (%)	3.7	3.5	3.7	4.1	4.5	4.6	4.6	4.0	4.1	3.8	3.9	4.0	4.0 (予想)
ROE (%)	17.5	9.2	9.4	13.6	16.3	19.4	20.9	15.5	13.9	12.5	17.8	13.9	13.0以上 (予想)

\* 2020年3月30日決議、4月6日消却 \*2 2023年7月31日決議、2024年4月17日消却 2019年度以降はIFRSに基づき算出した値

配当金につきましては、今中間期は1株当たり85円、前中間期より10円の増配となります。また、現時点では株式分割前換算で年間配当172円を予定しており、13期連続の増配となる予定です。今後も、SHIONOGIグループの成長を株主の皆さまともの実感していただけるよう、株主還元施策を進めてまいります。

## 株主メモ

- ◇ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇ 単元株式数 100株
- ◇ 公告掲載方法 電子公告  
当社インターネットホームページ(<https://www.shionogi.com/jp/ja/investors/shareholder-information/electronic-announcement.html>)に掲載しています。
- ◇ 上場証券取引所 東京
- ◇ 証券コード 4507
- ◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇ 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 (大阪府中央区北浜4丁目5番33号)  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネットホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株主の皆さまへお届けしておりました「SHIONOGI BUSINESS REPORT」につきまして、インターネットの普及および地球環境への配慮の観点から、昨年度より当社ウェブサイトでの開示に切り替えております。

過去のビジネスレポートはこちら [SHIONOGI BUSINESS REPORT | IR資料室 | 塩野義製薬](#)